

親子聖書日課

[日]ユダの最後の王達は、主の目に悪とされることを行いました。坂を転がり落ちるように、滅びの道を歩みました。私達の人生もこの延長線上にあってはいけません。主イエスが自分の神ですから、主の目に正しいとされることを行いましょう。

[月]エズラ記前半は、捕囚よりの帰還と神殿の再建、後半は彼の帰国と改革が記されています。「神に心を動かされた者」がいたからこそ、神殿を再建できたのです。教会も同じです。私達も神に心を動かされて、喜んで教会を建て上げましょう。

[火]捕囚から引き揚げた人々が第一にしたことは、神殿を再建するための「随意(自発的)の献げ物」です。貧しい民にとって、自分のために取っておきたかったのでしょう。しかし、神のために精一杯献げました。ですから、神殿が建ったのです。

[水]一緒に礼拝を献げていても、心がバラバラでは祭壇は築けません。民のように「一人のようになる」ことが大切です。その為には、聖書日課に励み、礼拝と祈禱会を大切に、主のみ心を知ることです。そこに、聖霊が注がれ、教会は建ちます。

[木]ユダヤ人を支配下に置こうと、敵は神殿の再建工事の協力を申し出ましたが、民は信仰を保つために、「私達だけで主のために神殿を建てます」と断ります。他者の支援に頼ってはい、教会の自立はありません。自らの信仰で建てましょう。



[金]神殿工事は武力によって、18年間中断しましたが、民は立ち上がりました。その力になったのは預言者の言葉です。御言葉を聴くことによって、苦難の中から立ち上がることができます。私達は今日の預言者です。御言葉を恐れず、語りましょう。

[土]神殿再建はペルシャ王の命令によって進められ、完成しました。神の業はこの世の人を用いても進められます。少人数の教会員では何もできないと諦めてはいけません。神の業はいつでも、誰にでもなされることに期待して、祈りましょう。

NO.1849 2024.3/3-9

名前

	聖書	問題	答え
日	歴代誌下 36:1-23	ユダの王たちは主の目に何とされることを行いましたか。	
月	エズラ記 1:1-11	神にどうした者は皆、主の神殿を建てるために上りましたか。	
火	2:1-70	家長の幾人かは、神殿を再建するために、何をささげましたか。	
水	3:1-13	民はエルサレムに集まって、どのようにになりましたか。	
木	4:1-24	主のために神殿を建てるのは、誰に託された仕事ですか。	
金	5:1-17	預言者はユダの人々に向かってどうしたので、民は立ち上げられましたか。	
土	6:1-22	神殿は再建されなければならぬと勅令を配布したのは誰ですか。	
		感想と祈りの課題	